

令和2年度 第2回 政策決定会議 会議録①

◆開催日時:令和2年5月18日(月) 13:00~13:40

◆開催場所:市長公室

◆出席委員:永野市長、堤副市長、大下教育長

◆審議事項

・指定管理者の募集について……………観光課⇒承認

◆審議概要

『指定管理者の募集について』

〈説明者〉前田魅力創造部長、西河観光課長

◎説明者から、案件及び政策調整会議における議論の内容を説明し、政策調整会議にて原案のとおり承認(資料は一部修正)された旨、報告。

※案件内容は付議依頼書に基づき説明。政策調整会議における議論内容は、以下のとおり説明。

【政策調整会議における議論内容】

- ① 新規事業者の参画による斬新なアイデアを期待し、2施設ずつの組み合わせで指定管理者募集を予定しているが、4施設一体とすることも一案とし、経費や参加事業者の意向等の面から検討すること。また、経費削減の見通し等について説明できるよう準備しておくこと。
- ② 指定管理期間を1年延長するための手続き等について確認しておくこと。
- ③ 観光交流センターについて、観光客の交流が第一目的の施設となるように募集の仕方等にも留意し、その旨議会にも丁寧に説明を行うこと。

◎報告後、質疑応答

〈市長〉施設の組み合わせについて、施設の性格で分かれており異論はない。公募・非公募はどう考えているか。

〈魅力創造部長〉だんじり会館と駐車場については、非公募というのも選択肢としてある。

〈教育長〉観光振興や魅力づくりは、できるだけ行政の規制緩和を進め、民間事業者から自由に魅力を発信・誘客してもらうことが大前提である。歴史性・文化性の面において、岸和田城とだんじり会館は近接性の強い施設であり、利益面を考えると、一番利益が得られるのは駐車場である。その部分を切り離し、岸和田城と観光交流センターのみで指定管理となると、計画を立てる上で規制がかかり、観光交流センターは収入確保のため、営利施設になりかねない。そのため、個人的には4施設を集約するべきであると考え。非公募については、一方はプロポーザル方式での公募、一方は非公募となると、市民の理解を得難いのではないか。このあたりは、再度整理するべきである。

〈市 長〉議会には諮るのか。

〈観光課長〉令和3年に指定管理期間が満了するだんじり会館・市営駐車場・岸和田城は、公募を行わないで指定管理期間を1年間延長する旨を各会派に議会前に説明。その後、9月に「非公募の期間延長について」審査会にかけ、承認をいただければ12月議会に1年間の指定管理者の承認の議決を得る予定。

〈市 長〉観光振興協会はだんじり祭で補助金の事務を行っているのか。

〈観光課長〉主に仮設トイレ及び警備の費用に充てており、現金給付はない。

〈市 長〉観光振興協会が行っている事業としてこういったものがあるか。

〈観光課長〉お城まつりやもみじまつり、岸ぶらのホームページの運営等の委託、また、各イベントの実施。

〈市 長〉それらは観光振興協会でなければできないか。

〈観光課長〉観光振興協会では手続き等がスピーディーに実施できる利点がある。現在、観光課と観光振興協会が一緒になって事業を行っている部分が大半であるが、イベント等のソフト事業を積極的に行うような団体になってほしいと考えている。

〈市 長〉2つずつの施設に分けた上で両方一般公募とし、緊張感を持って提案してもらうのが良いと考える。特に観光交流センターについては、さらなる集客をめざし、多くの企業から提案を募り、魅力的な施設にできるように。岸和田城と組み合わせることで、今後、城泊など様々な展開も予想される。

〈観光課長〉より魅力的な提案を出した事業者を採用できるような仕様書を検討する。

〈堤副市長〉評価選定の配点やプレゼンの際の聞き取り方法を工夫されたい。

〈市 長〉今後観光振興協会のあり方等についても検討していくように。

〈総合政策部長〉本案件について、原案どおり承認としてよろしいか。

【異議なし】

⇒本件を原案のとおり承認する。

令和2年5月1日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 魅力創造部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	指定管理者の募集について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	岸和田城、だんじり会館、市営駐車場の指定管理期間を1年延長し、二の丸広場観光交流センターの指定管理期間とあわせて、岸和田城と二の丸広場観光交流センター、だんじり会館と市営駐車場の組み合わせで募集し、さらなる岸和田城周辺の賑わいの創出を図る。
説明者	観光課長 西河
	観光課観光振興担当主幹 畑部
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

別紙

付議会議	令和2年度 第2回会議
付議事項	観光施設(岸和田城、だんじり会館、市営駐車場、二の丸広場観光交流センター)の指定管理者の募集について

★取組の目的

対象	市民及び観光客
どのような状態を目指す	岸和田城と二の丸広場観光交流センター、だんじり会館と市営駐車場の組み合わせで管理運営し、さらなる岸和田城周辺の賑わいの創出を図る。

★総合計画上の位置付け

106030203	基本目標	I－6 海から山までをつなげ、新しい価値と活力を創出する
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(3)1年中を通じて多くの人が岸和田を訪れ、市民と交流している
	目指す成果	②市民が観光資源に親しみ、多くの観光客でにぎわっている
	行政の役割	ウ 観光客の受入れ体制を整える

★現状と課題

別紙資料のとおり。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項		決算(見込額)		予算額	見込額				
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
指定管理料 ・岸和田城、だんじり会館、市営駐車場:利用料金制の採用なし ・観光交流センター:利用料金制を採用 ※各年度の金額は3施設の指定管理料の合計額。観光交流センターは指定管理料0円。		93,060	93,862	94,723	94,723				
指定管理料 ・全4施設:R4年度以降、利用料金制を採用予定 ※各年度の金額は4施設の指定管理料。						92,543	92,543	92,543	92,543
財源内訳	国費								
	府費								
	起債								
	一般財源	93,060	93,862	94,723	94,723	92,543	92,543	92,543	92,543
	その他								
事業費		計			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		464,895			94,723	92,543	92,543	92,543	92,543

★当該事項に関連する人員増の必要性*

人員増の必要性		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
有	無					

★取組の効果を表す指標

指標名		単位	目標値							
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	岸和田城の入込客数	人	38,500	43,983	40,317	43,410	45,000	48,000	51,000	54,000
②	だんじり会館の入込客数	人	32,493	33,412	30,627	38,210	40,000	42,000	44,000	46,000
③	観光交流センターの入込客数	人	49,882	64,308	58,949	62,780	65,000	68,000	71,000	74,000

※事業費及び人員を確約するものではない。